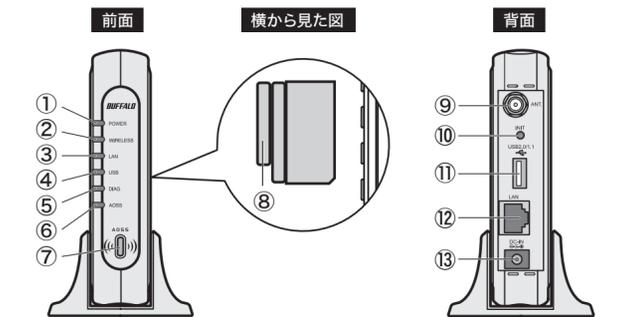
BUFFALO 35004502 ver.06 6-01 C10-015

LPV3-U2-G54 マニュアル かんたん設定ガイド

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

各部の名称とはたらき

各部の名称とはたらきを説明します。

① POWERランプ(緑)	点灯:ACアダプター接続時	消灯:ACアダプター未接続
② WIRELESSランプ(緑)	点灯:無線LAN接続時	点滅:無線LAN通信中
③ LANランプ(緑)	点灯:有線LAN接続時	点滅:有線LAN通信中
④ USBランプ(緑)	点灯:印刷可能時	点滅:印刷中
⑤ DIAGランプ(赤)	点灯:起動中 (起動後は消灯します)	点滅:ファームウェア更新時

※ファームウェア更新中は、絶対にACアダプターをコンセントから抜かないでください。

⑥ AOSSランプ(橙)　ランプの点滅状態により、本製品の状態を示します。
※本製品の電源を投入した際にも、しばらく点灯します。

点滅状態	内　容
点灯(橙)	セキュリティーキー交換処理が成功し、運用中(AOSS成功)
2回点滅(橙)	無線親機とセキュリティーキー交換処理を行える状態(AOSS 待機中)
点滅(橙)	セキュリティーキー交換処理に失敗(AOSS失敗)

⑦ AOSS ボタン　電源ON 時に、AOSSランプが橙色点灯するまで(約3秒間)スイッチを押すと、無線親機とセキュリティーキー交換処理を行える状態(AOSS 動作状態)になります。

⑧ MACアドレス　本製品のMACアドレスが記載されています。(12桁の値)

⑨ アンテナコネクター　付属のアンテナを接続します。

⑩ INIT(設定初期化スイッチ)　電源を入れた状態で、前面パネルにあるDIAGランプが赤色点灯するまで(約3秒間)スイッチを押し続ける※と、設定が初期化されます。
※ 3秒以内にスイッチを離すと、本製品は再起動します。その場合、初期化はされません。

⑪ USBポート　USB接続可能なプリンターを接続します。

⑫ LANポート　有線LAN接続可能なパソコンを接続します。

⑬ DCコネクター　付属のACアダプターを接続します。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線親機間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。
BUFFALOの無線LANセキュリティーに対する取り組みについては、「LPV3シリーズユーティリティ CD」内の「セキュリティーに関するご注意」をご覧ください。

■電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 次の場所では、本製品を使用しないでください。
  電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります。)
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
  ・本製品を分解/改造すること
  ・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
  ・産業・科学・医療用機器
  ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  　①構内無線局(免許を要する無線局)
  　②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
  1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
  3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

仕様

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

製品仕様

無線LANインターフェース	準拠規格	IEEE802.11g / IEEE802.11b(無線LAN標準プロトコル) ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格)
	伝送方式	直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 相補符号変調(CCK)方式 単信(半二重)
	データ伝送速度(オートセンス)	6/9/12/18/24/36/48/54Mbps(IEEE802.11g) 1/2/5.5/11Mbps(IEEE802.11b)
	アクセス方式	インフラストラクチャーモード
	周波数範囲(中心周波数)	2412～2472MHz(全13チャンネル) ※ 基本的に携帯電話、コードレスホン、テレビ、ラジオ等とは混信しませんが、これらの機器が2.4GHz帯の無線を使用する場合は、混信が発生する可能性があります。
	セキュリティー	AOSS、WPA2-PSK(TKIP※/AES)、WPA-PSK(TKIP※/AES)、128(104)/64(40)bit WEP、設定画面パスワード
有線LANインターフェース	準拠規格	IEEE802.3u(100BASE-TX) / IEEE802.3(10BASE-T)
	伝送速度	100Mbps / 10Mbps
	ポート	100BASE-TX / 10BASE-T兼用ポート×1 (AUTO-MDIX対応)
	コネクター	RJ-45型8極コネクター
プリンターインターフェース	規格	USB Revision 2.0
	コネクター	USB Aコネクター×1
消費電力/消費電流	最大2.6W(DC5V) / 最大520mA	
動作温度/湿度	温度:0～40℃　湿度:20～80%(結露なきこと)	
外形寸法/重量	125(W)×30(H)×86(D)mm / 165g(本体のみ)	

※ 弊社製WBR-B11と本製品を無線で接続する場合、WBR-B11の無線暗号化設定がTKIPに設定されていると本製品と接続できません。事前にWEPに設定変更してから、本製品を接続してください。

対応プロトコル/OS

プロトコル	OS
双方向通信モード	Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000
TCP/IP	Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP/2000 Windows Me/98/95/NT4.0 MacOS X 10.0.4～10.3.9, UNIX
NetBEUI	Windows 2000/Me/98/95/NT4.0
AppleTalk(Ether Talk)	MacOS 8.6、MacOS 9.0.4～9.2.2、MacOS X 10.0～10.5
Bonjour	MacOS X 10.4/10.5/10.6
Rendezvous	MacOS X 10.2.0～10.3.9
IPP	Windows 7(32bit/64bit)/Vista(32bit/64bit)/XP/2000

※「LPV3マネージャ」は、MacOSおよびUNIXには対応していません。また、「LPV3ダイレクト接続マネージャ」は、Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000のみ対応です。

対応プリンター

USB2.0/USB1.1に対応したプリンター

※プリンターは、1台だけ接続できます。

※USBパラレル変換ケーブルを使用して、プリンターを接続することはできません。

※Macintoshで使用する場合は、PostScriptプリンターのみ対応です。

※Canon製レーザープリンター、WPS(Windows Printing System)プリンターには対応していません。

※複合機能搭載プリンターを接続した場合、プリンター機能およびスキャナー機能のみ使用できます(Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000のみ)。
その他の機能(カードリーダー、FAXなど)を使用することはできません。

※双方向対応プリンターの双方向通信モードは、Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000の場合のみお使いいただけます。双方向通信で動作確認済みのプリンター・複合機は、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご覧ください。

おもな出荷時設定値

設定項目			出荷時設定値
基本設定	パス		¥¥PU-xxxxxx¥P1
	プリントサーバー名		PU-xxxxxx
	管理ユーザー名/管理パスワード		root/未設定
	ポート名		P1
無線設定	SSID		未設定
	暗号化		暗号化なし
プロトコル設定	TCP/IP	IPアドレス	自動取得
	AppleTalk	AppleTalkZone	*
		プリンターオブジェクト	LaserWriter
		PostScriptレベル	Level2
		フォントグループ	Standard35
	NETBEUI	ワークグループ	WORKGROUP
	SNMP(RFC1155/1157)	SysContact名	未設定
		SysLocation名	未設定
		コミュニティー名	public
		アクセス権限	Read/Write

※xxxxxxは、MACアドレスの下6桁です。MACアドレスは、本製品に貼り付けられています。

かんたん設定ガイド
2009年 11月 24日 第6版 発行 株式会社バッファロー

はじめに

本紙では、ネットワーク上のWindows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000搭載パソコンから、本製品に接続されたプリンターに印刷する方法を説明します。

※Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0、MacOS、UNIXを搭載したパソコンで本製品の設定や印刷をする場合は、付属CDに収録されている電子マニュアルを参照してください(裏面「電子マニュアルの読み方」参照)。

※NBT(NetBIOS over TCP/IP) / LPR(TCP/IP) / NetBEUI / AppleTalkプロトコルを使って印刷する場合は、電子マニュアルを参照してください。

※本製品を使用する前に、ネットワーク上のパソコン間で正常に通信できることを確認してください。各ネットワーク機器(LANアダプター、ルーターや無線親機など)の使い方については、各機器のマニュアルを参照してください。

無線プリントサーバーを使えるようにしよう

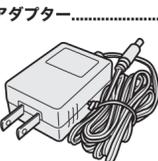
ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

□無線プリントサーバー(本体)............1個

□LPV3シリーズユーティリティCD...1枚

□アンテナ 1本
□縦置き用スタンド 1個
□横置き用ゴム足 4個
□USBケーブル 1本

□ACアダプター....................1個

□かんたん設定ガイド(本紙)............. 1枚
□安全にお使いいただくために必ずお読みください(保証書付き).......... 1枚

※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 接続する親機を確認しよう

接続する無線親機がAOSS™に対応しているか確認してください。無線親機にAOSSボタンがある場合は、AOSSに対応しています。

※AOSSボタンがなくても、AOSSに対応している無線親機もあります。エアステーションをお使いの方は、弊社ホームページ(buffalo.jp)をご覧ください。

AOSSに対応した無線親機をお使いの場合

AOSSに対応した無線親機をお使いの場合
⇒本紙ステップ3以降を参照してセットアップをおこなってください。

AOSSに対応していない無線親機をお使いの場合、または本製品を有線接続で使用する場合

他社製無線親機などをお使いの場合や本製品にLANケーブルを接続して使用する場合
⇒付属CDに収録されている電子マニュアル「第1章 ご使用になる前に」の「本製品の接続(有線)」および「本製品の接続(無線)」を参照してセットアップをおこなってください。

電子マニュアルを読むには

裏面の「電子マニュアルの読み方」を参照してください。

ステップ3へつづく

ステップ3 セットアップしよう

Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000搭載パソコンから本製品に接続されたプリンターに印刷する場合は、次の手順でセットアップを行ってください。
Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0をお使いの方は、LPV3シリーズユーティリティーCD内の「ユーザーズマニュアル」の「第2章 Windowsで印刷する」を参照してください。

※ 弊社製WBR-B11をお使いの場合、WBR-B11の無線暗号化設定がTKIPに設定されていると本製品と接続できません。事前にWEPに設定変更してから、下記の手順を行ってください。

1 プリンターのマニュアルを参照して、プリンターのドライバーをインストールします。

ここでは、プリンターがパソコンのプリンターポート(LPT1)に接続されているもの(ローカルプリンター)として、プリンタードライバーをインストールしてください。

また、インストールの途中で「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」などのチェック項目がある場合は、チェックマークを外してください。

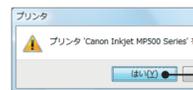
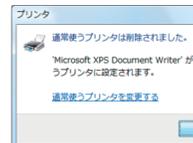
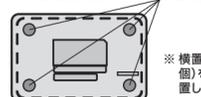
2 プリンターの管理画面を表示します。

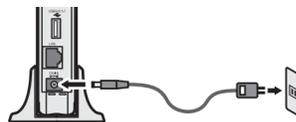
Windows 7(32bit)/Vista(32bit)の場合は、[スタート]－[コントロールパネル]を選択し、[(デバイスと)プリンター]をクリックします。
Windows XPの場合は、[スタート]－[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

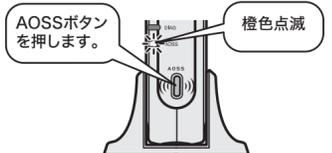
3 インストールしたプリンターのドライバーを、一度削除します。

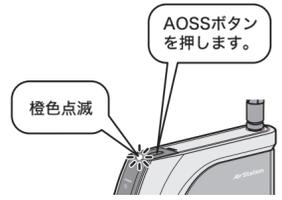
4

[はい]をクリックします。

5

6 付属のアンテナと縦置き用スタンドを取り付けます。

※ 横置きで使用する場合、付属のゴム足(4個)を本製品底面の四隅に貼り付けて設置してください。

7 無線プリントサーバーと家庭用コンセントを付属のACアダプターで接続します。

8 AOSSランプが点滅するまで(約3秒間)、無線プリントサーバーの電源を入れた状態でAOSSボタンを押します。

裏面へつづく

9. AOSSランプが点滅するまで(約3秒間)、無線親機の電源を入れた状態でAOSSボタンを押します。

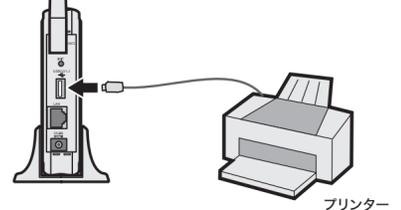
AOSSボタン・AOSSランプの位置や仕様に関しては、無線親機によって異なります。お使いの無線親機のマニュアルを参照して、AOSSボタン・AOSSランプの位置と仕様を確認しておいてください。

10. 自動的に無線親機が検索されて、設定がおこなわれます。

11. 無線プリントサーバーと無線親機のAOSSランプ(または「SECURITY」ランプ)が点灯したら、接続は完了です。

<無線プリントサーバー>　<無線親機>

メモ

無線親機に正しく接続されなかった場合、無線親機のAOSS(またはSECURITY)ランプが2回点滅から点滅に変わります。その場合は、再度手順 8 から実行してください。

12. 無線プリントサーバーとプリンターを付属のUSBケーブルで接続します。

13. プリンターの電源をONにします。

電源がONになっていた場合は、一度電源をOFF→ONにしてください。

14. 添付のCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、LPV3シリーズユーティリティが起動します。

注意 以下の画面が表示されたら？(Windows 7/Vistaの場合)

「LAUNCHER.exeの実行」をクリックします。　[はい]または[続行]をクリックします。

15.

16.

17. 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は、[同意]をクリックします。

18. LPV3ダイレクト接続マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

19.

20. 「LPV3ダイレクト接続マネージャ」が自動的に起動し、プリントサーバーが検索されます。

プリントサーバーが検索されないときは

- ハブやルーターなどとプリントサーバーが、適切なLANケーブルで確実に接続されているか確認してください。
- ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト(トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど)のファイアウォール機能を無効にしてください。
- プリントサーバーを設定するLANアダプターのTCP/IPプロトコルを有効にしてください。

※詳細は、電子マニュアル「第5章 困ったときは」の「LPV3マネージャで検索しても、本製品が検出されない(TCP/IPプロトコルはインストール済み)」を参照してください。

21. 「0.0.0.0」以外の数字が表示され、"(自動取得)"と表示されていることを確認します。

[デバイス名]欄に接続したプリンターが表示されていることを確認します。

メモ

「IPアドレス」欄に"取得失敗"と表示されている場合や、ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない場合は、プリントサーバーのIPアドレスを設定してください。
設定方法は、本紙の「プリントサーバーのIPアドレスを設定する」を参照してください。

22.

23. プリンタードライバーが再度インストールされます。

画面にしたがい、プリンタードライバーのインストールを行ってください。
途中、プリンターのCD-ROMをパソコンにセットするように指示があった場合は、プリンターに添付されているCD-ROMをパソコンにセットして、作業を進めてください。

24. プリンタードライバーのインストールが完了したあとは、テスト印刷を行います。

Windows 7/Vistaの場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[(デバイスと)プリンター]をクリックします。
Windows XPの場合は、[スタート]－[コントロール パネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]－[プリンタとFAX]を選択します。
Windows 2000の場合は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]を選択します。

25. インストールしたプリンターを右クリックし、[(プリンターの)プロパティ]を選択します。

26. [全般]をクリックして、[テストページの印刷]をクリックします。

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

他のネットワーク上のパソコンからプリントアウトするときは、**再度「ステップ3 セットアップしよう」の手順1～5と14～26を行ってください。**

プリントサーバーのIPアドレスを設定する

次の場合は、プリントサーバーにIPアドレスが設定されていません。

- 「LPV3ダイレクト接続マネージャ」の「IPアドレス」欄に"取得失敗"と表示されている
- ネットワーク内にDHCPサーバーが存在しない

下記の手順で、プリントサーバーのIPアドレスを設定してください。

1. 添付のCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)をパソコンにセットします。しばらくすると、LPV3シリーズユーティリティが起動します。

すでにCD-ROM(LPV3シリーズユーティリティCD)がパソコンにセットされているときは、一度パソコンから取り出してから、再度セットしなおしてください。

注意

「自動再生」または「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら？(Windows 7/Vistaの場合)

CD挿入時に、「自動再生」の画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。
また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

2.

3.

4. 「ソフトウェア使用許諾契約」画面が表示されたら、内容を確認し、同意できる場合は[同意]をクリックします。

5. LPV3マネージャのインストール先を確認し、[次へ]をクリックします。

6. 「LPV3マネージャのインストールが完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

プリントサーバーが検索されないときは

- ハブやルーターなどとプリントサーバーが、適切なLANケーブルで確実に接続されているか確認してください。
- ファイアウォール機能が有効になっている常駐ソフト(トレンドマイクロ社ウイルスバスターなど)のファイアウォール機能を無効にしてください。
- プリントサーバーを設定するLANアダプターのTCP/IPプロトコルを有効にしてください。

※詳細は、電子マニュアル「第5章 困ったときは」の「LPV3マネージャで検索しても、本製品が検出されない(TCP/IPプロトコルはインストール済み)」を参照してください。

7.

8.

9.

10. [OK]をクリックします。

11. 「設定を変更します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

12. 「設定が完了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

LPV3マネージャが自動的に終了します。

以上で、プリントサーバーのIPアドレスの設定は完了です。

こんなときは

●Windows 7(32bit)/Vista(32bit)/XP/2000で、本紙の手順で印刷できない場合

⇒電子マニュアルの「第2章 Windowsで印刷する」－「2.2 LPRプロトコルで印刷する」の方法で設定をやり直してください。

●Windows 7(64bit)/Vista(64bit)/Me/98/95/NT4.0で印刷したい

⇒電子マニュアルの「第2章 Windowsで印刷する」を参照してください。

●Windowsで、NBT/LPR/NetBEUI/IPPプロトコルを使って印刷したい

⇒電子マニュアルの「第2章 Windowsで印刷する」を参照してください。

●Macintoshで印刷したい

⇒電子マニュアルの「第3章 Macintoshで印刷する」を参照してください。

●UNIXで印刷したい

⇒電子マニュアルの「第4章 UNIXで印刷する」を参照してください。

●設定/印刷で困った

⇒「ステップ3 セットアップしよう」(P.1)を参照して、プリンターとプリントサーバーとの接続を確認してください。

⇒電子マニュアルの「第5章 困ったときは」を参照してください。

●設定画面の詳細を知りたい

⇒電子マニュアルの「第6章 付録」を参照してください。

●印刷するときやプリンターのプロパティを開くときに通信エラーが表示される

⇒LPV3ダイレクト接続マネージャを使用しない印刷方法(LPRなど)の場合、双方向通信モードでは使用できません。そのため、使用するプリンターによっては、印刷するときやプリンターのプロパティを開くときに、通信エラーが表示されることがあります。この場合は、[OK]をクリックして、操作を続けてください。印刷上の問題はありません。また、インク残量などを通知するプリンター付属のユーティリティーを無効にすることで、通信エラーが表示されなくなる場合があります。

●設定内容を初期化したい

⇒本製品のINIT(出荷時設定)スイッチを3秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。

●プリントサーバーに設定したパスワードを忘れてしまった

⇒本製品のINIT(出荷時設定)スイッチを3秒以上押して、初期化してください。
INITスイッチの場所は、P.4「各部の名称とはたらき」をご参照ください。
初期化した後は、再度本製品を設定してください。

※パスワードを設定する場合は、パスワードを忘れないように必ずパスワードの控えを安全な場所に保管してください。

電子マニュアルの読み方

Windows をお使いの場合

1. CD-ROM「LPV3 シリーズユーティリティ CD」をパソコンにセットします。

※Windows 7/Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、[LAUNCHER.exeの実行]をクリックしてください。
また、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、[はい]または[続行]をクリックしてください。

2. [マニュアルを見る] を選択し、[実行] を選択します。
3. 「無線プリントサーバ（LPV3-U2-G54）」を選択し、[OK] をクリックします。
4. 「LPV3-U2-G54 ユーザーズマニュアル」を選択し、[OK] をクリックします。

Macintosh をお使いの場合

1. CD-ROM「LPV3 シリーズユーティリティ CD」をパソコンにセットします。
2. デスクトップに表示された CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
3. [Manual] フォルダをダブルクリックします。
4. [LPV3-U2-G54] フォルダをダブルクリックします。
5. 「lpv3u2g54.pdf」をダブルクリックします。